

# 大空の子

## 学校教育目標

- 知恵をみがき
- 清い心をはぐくみ
- 身体をきたえる子

令和2年2月10日(月)  
帯広市立大空小学校  
校長 川上 裕明

## スケートがんばりました

天候に悩まされる今年の冬でしたが、なんとか低学年のスケート記録会を実施することができました。寒さに負けずがんばる子どもの姿は、勇気をくれますね。



リンクの造成維持はプロの業者の方に大変ご苦労いただき、雪のほとんどないグラウンドにピカピカのリンクを作っていただきました。しかし、残念ながら2/3には使用不能、中・高学年の記録会は中止になってしまいました。申し訳ありませんでした。ひもじり

や応援に何度もご来校いただき、大変ありがとうございました。

右は、大空中付近の地図です。

太点線の道路は、登下校には通行しないようお願いします。朝は特に自動車の通行が多く、歩道もなく危険な道路です。地域の方から「児童の歩き方が危険だ！」とお電話をいただくこともあります。学校でも、登校時は矢印のルートで大空小へ向かい、同様の道で下校するよう指導しています。

ご家庭での声かけも、よろしくお願いします。





## 集団下校のご協力に感謝

1/30（木）集団下校を行いました。

前日からの雪が朝に一層激しくなり、積もった雪は登校時15cmほどだったでしょうか。雪の降る中を、児童は元気いっぱい登校してきました。さすが北の子！頼もしい。

雪はその後も降り続き、しかし多くの車道は前日に一度除雪されたきり、歩道の除雪はまだでした。登校時の様子を考えると「みんな、雪をこいでたくましく下校するだろう」姿が想像できたのですが、自動車との接触……など危険な目に遭うことも想定されたため、5校時終了後に全校一斉の集団下校を行いました。

下校する頃、降雪は落ち着いてきたものの除雪は進んでおらず、場所によっては1年生のひざまで積もった雪。児童は10のグループに分かれて帰宅・学校待機・学童センターへの移動、と進んでいきました。久しぶりに積もった雪道を家へと向かう児童は、緊張しながらもちょっと楽しげ(!?)……そんな中、高学年の児童は見事です。下級生に目をかけ、声をかけながら、グループ全員が安全に進めるよう気を張っている様子が見えました。

あるいは、下級生だった頃の自分を気遣ってくれた先輩方の姿が、イメージの中にあっただのかもしれない。しっかり育っている高学年に、感心したひとときでした。

急な対応にご協力いただき大変ありがとうございました。



がんばる大空っ子

5年 □□□□くん(十勝SCチーム)  
第22回十勝新春水泳競技大会  
4×50mリレー 第1位

## ジャンボ書道にチャレンジ

6年生が、卒業記念の書道にチャレンジしました。

書道と言っても、畳一枚分ほどの紙に書く巨大な書道。自分の思いを込めた漢字1文字を、豪快にしたためます。十勝を拠点に活躍されている書家、□□□□先生のご指導で、素晴らしい作品が並びました。



作品は、卒業証書授与式の会場に展示する予定です。お楽しみに！

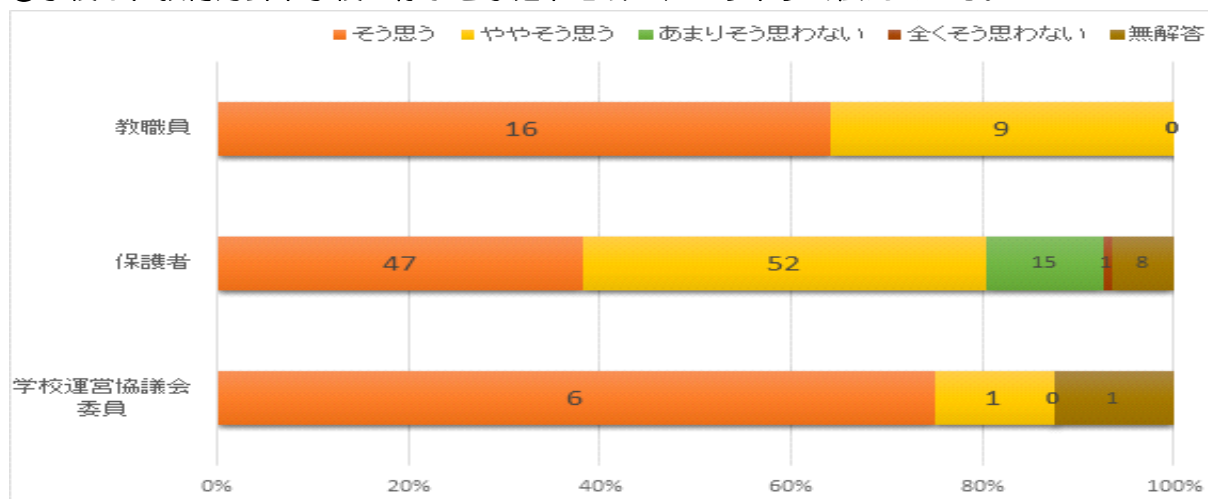


## よりよい大空小学校を作るためのアンケート

昨年末に児童・保護者の皆様に、学校評価のアンケートにご協力いただきました。

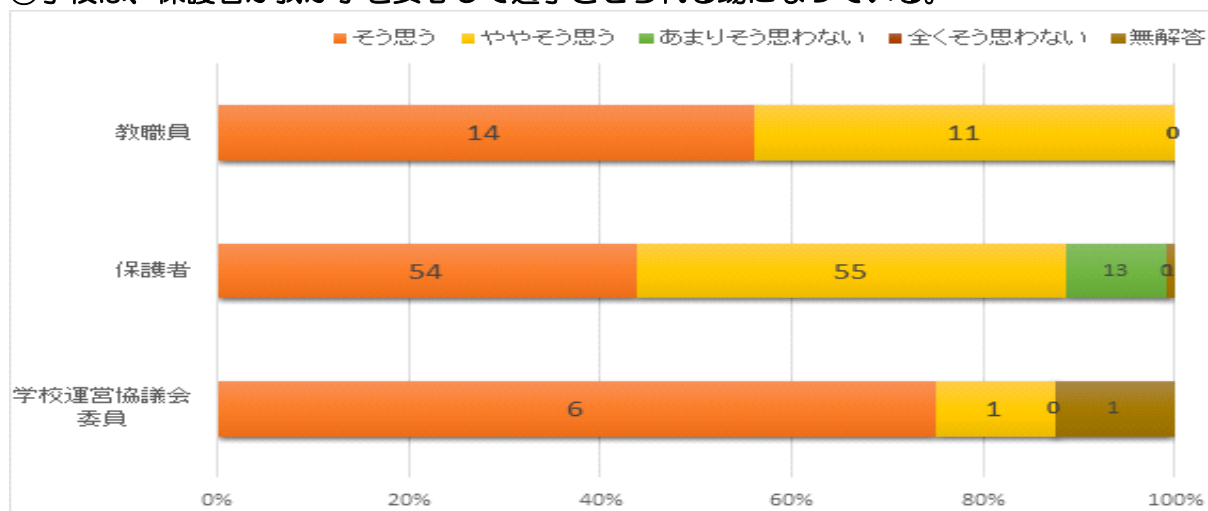
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）委員の方からいただいた評価、教職員が行った評価、分析も含めてお知らせします。同様の項目を比較できるように、設問の言葉を少し変えています

### ①学校は、教育方針や学校の様子を家庭や地域へわかりやすく伝えている。



保護者評価を見ると、80%を超える方は肯定的な評価ですが、16人の方は「そうは思わない」との回答でした。学校との意識の差があります。単に伝えるだけでなく、「わかりやすく」の部分に、まだまだ工夫が必要だと思わされます。

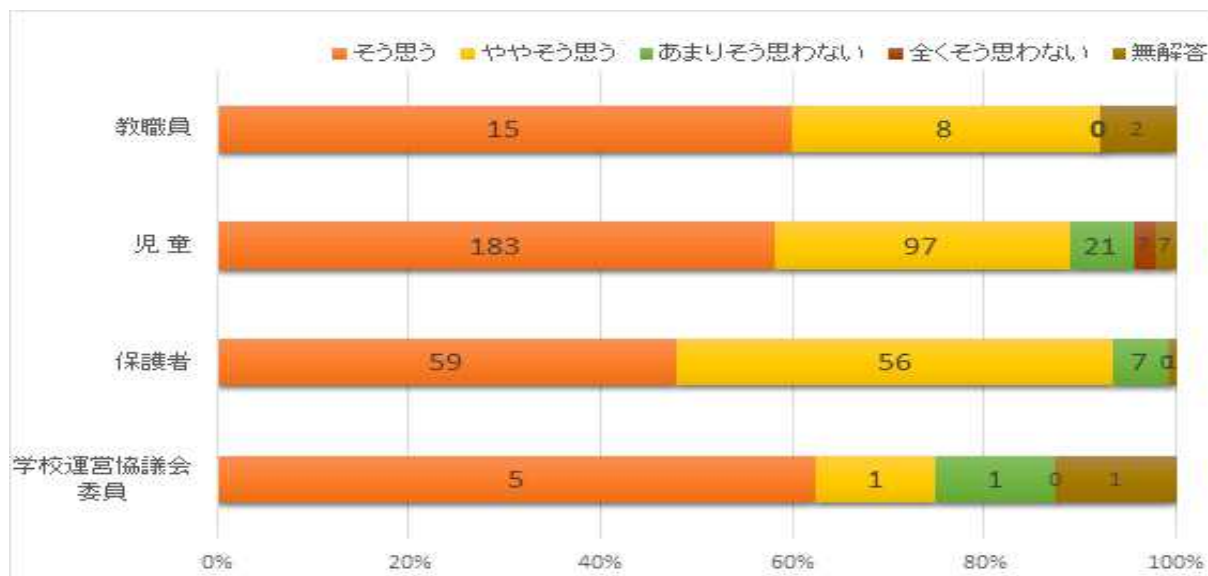
### ②学校は、保護者が我が子を安心して通学させられる場になっている。



こちら、15人の保護者の方から「あまりそう思わない」との回答がありました。「安全」「安心」は学校の最重要項目であり、学校としても教育活動の再点検が必要です。

学校でのけがや体調不良、児童同士のトラブルなど、担任からご家庭に様々連絡をさせていただいています。ご家庭からも、お子さんの様子で気になることなど、ご遠慮なくお尋ねください。

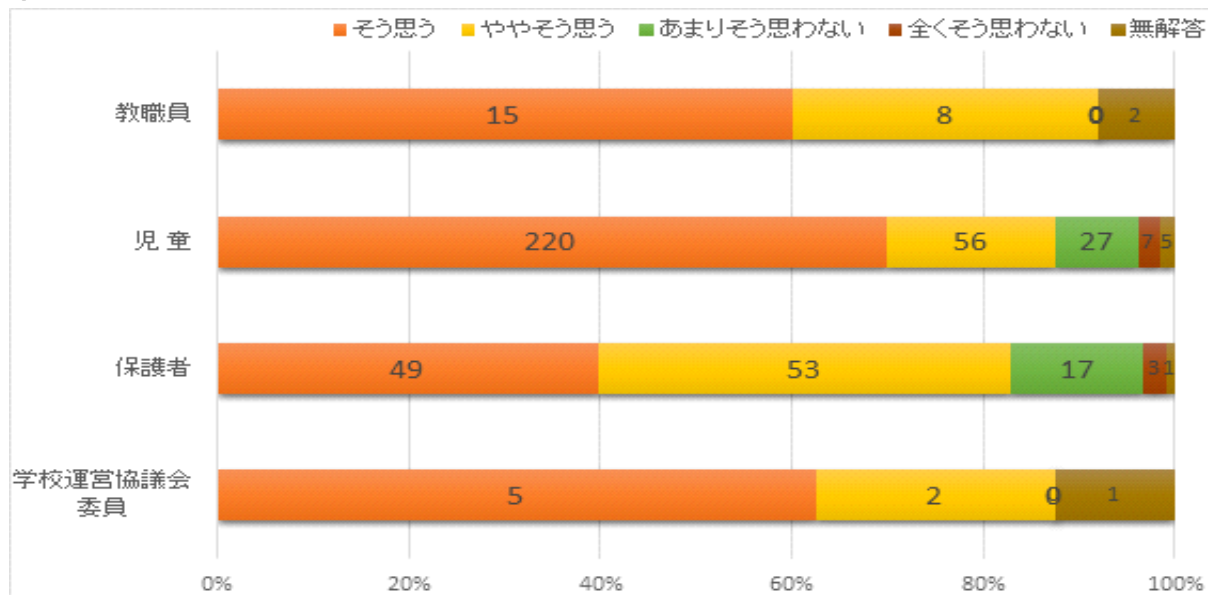
### ③学校は、ルールやきまりについて教育をしている。



児童からは、「ルールがあまりわからない」との回答もありました。確かに、大空小学校の「生活のきまり」はシンプルですので、ふだんの生活では自分の判断が必要な場面も多くありますね。

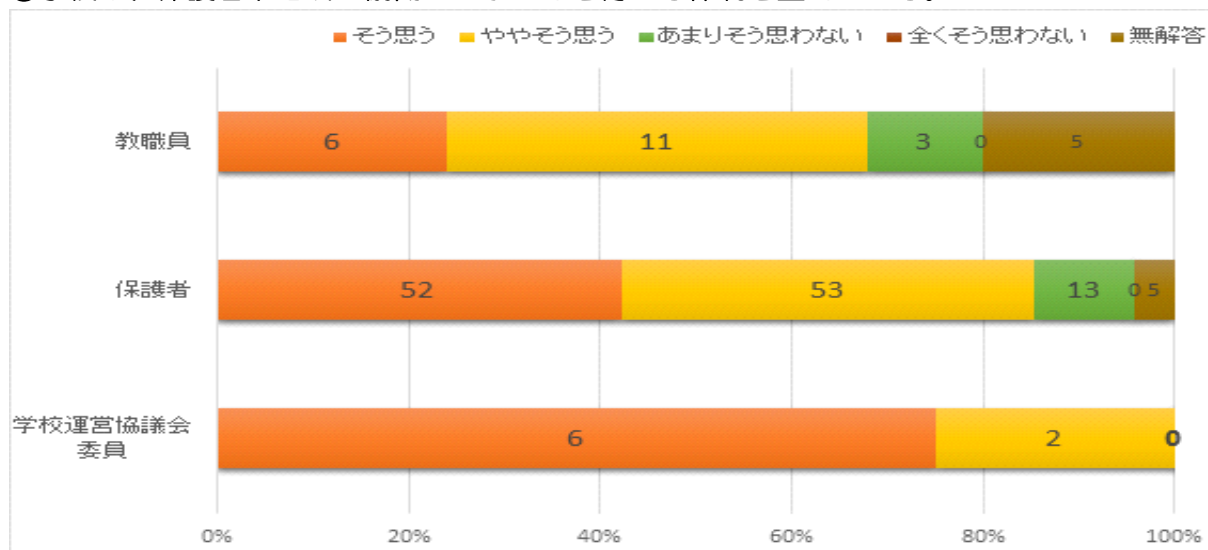
多くの児童が生活する学校では、「学習のきまり」「生活のきまり」などは必要最小限かつ徹底して守っていきたいものです。道徳の時間などで、「なぜルールが必要なのか」について考える活動も必要です。

### ④学校は、子どもや保護者の疑問や悩みに寄り添う姿勢をもっている。



多くの児童・保護者。学校運営協議会委員の方から肯定的なご意見をいただいているものの、やはり気になるのは「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の数です。教員の不十分なところはご指摘いただけるとありがたいですし、尋ねづらいことは家庭訪問相談員も活用していただけます。また、教育委員会から派遣されるスクールカウンセラーもおります（教頭にご依頼ください）。

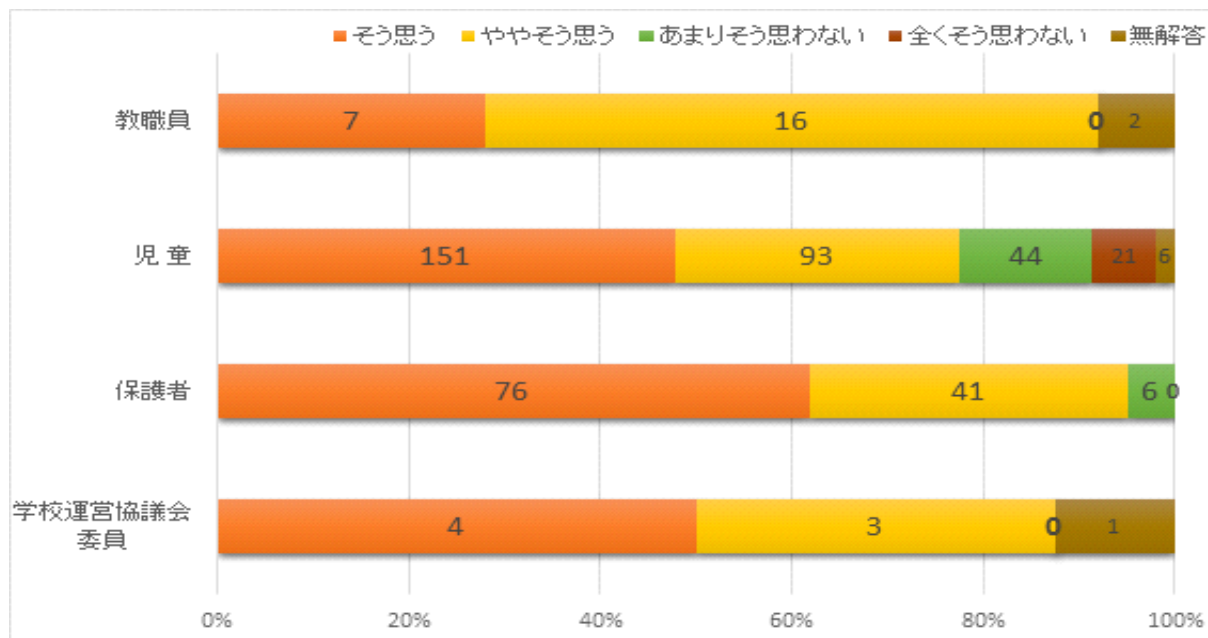
⑤学校は、保護者や地域と協働して子どもを育てる体制を整えている。



この項目は、教職員の評価がより辛めに出ました。

学校教育は、保護者の理解なくしては成り立たず、地域の協力なくしては不十分です。今後は、昨年10月にできた学校運営協議会の力をお借りしながら、保護者や地域からのご協力を得やすい体制を整えていきます。

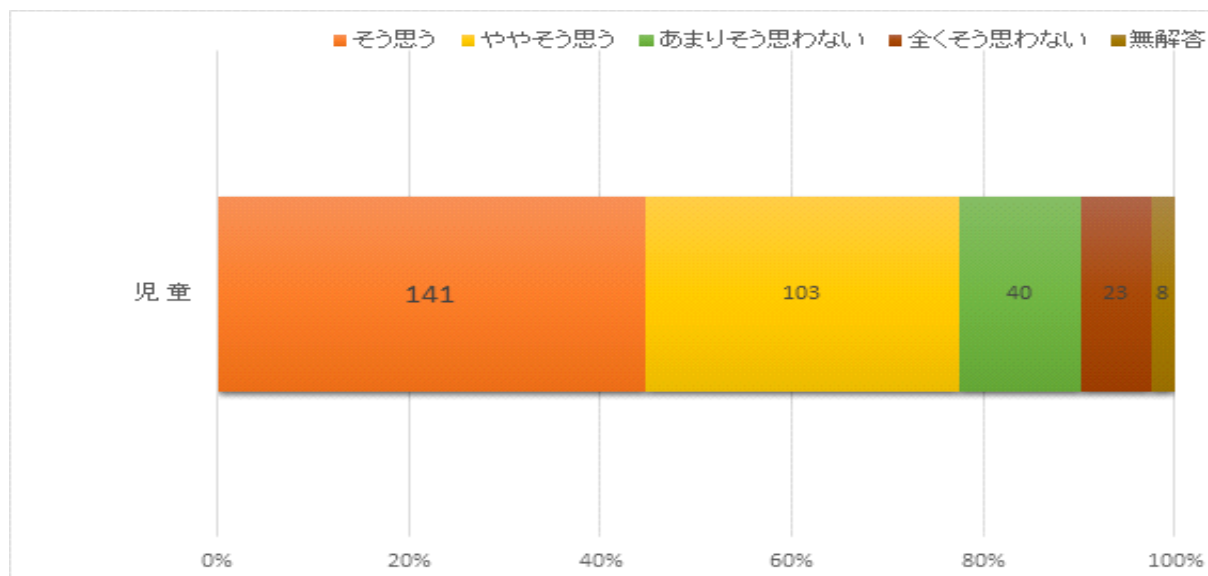
⑥お子さんは、笑顔で学校へ通っている。



令和元年度の重点「笑顔いっぱい大空小学校」がどのくらい具現化されたか……児童の20%が「そうは思わない」と回答しています。

学校の毎日は面白おかしいことばかりではありませんが、たとえ厳しい勉強や辛い活動であっても、自分の成長を実感できれば笑顔に結びつくと考えています。一日一回でも、わかった喜びやできた体験を味わえる、また、どこかに自分の居場所がある……そんな学校であるよう、さらに努力します。

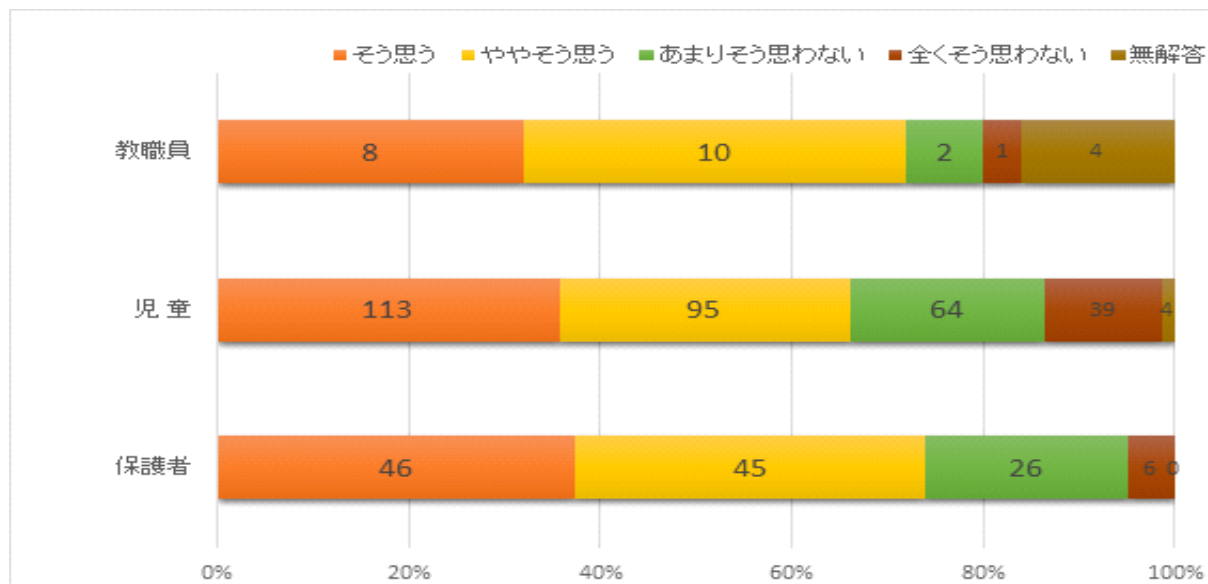
⑦学校の勉強は、楽しくてやりがいがある。



児童だけに尋ねた項目です。

80%の「そう思う」と20%の「そうは思わない」、個々の児童のニーズに合わせて授業を行うことは、難しいことですがプロ教師としては避けて通れない道です。

⑧お子さんは、学年に応じた時間・内容の家庭学習に取り組んでいる。

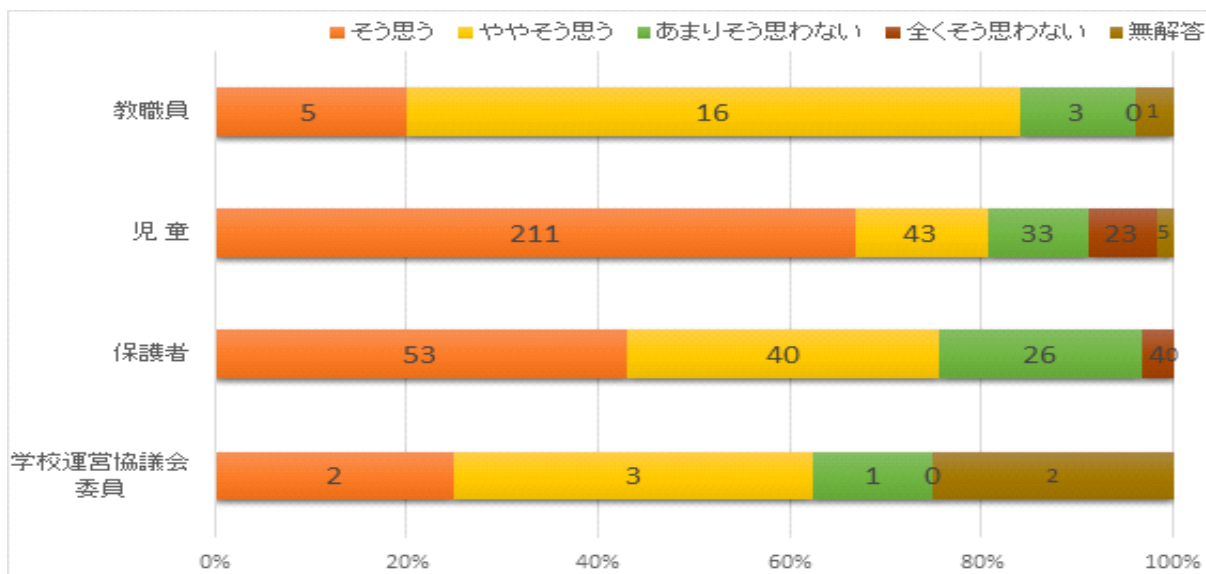


3つのグラフが似たような傾向となりました。

家庭学習の時間について、学校では「学年×10分」以上をおすすめしていますが、現状はどうでしょうか。各学年からは宿題も出ていますが、与えられた課題だけではなく、得意を伸ばしたり苦手を補強したりする家庭学習で「自ら学ぶ」意識を養うことは、将来にわたっての財産となります。

ご家庭でもぜひご協力をお願いします。

⑨お子さんは、放課後や休日も運動したり体を動かして遊んだりしている。

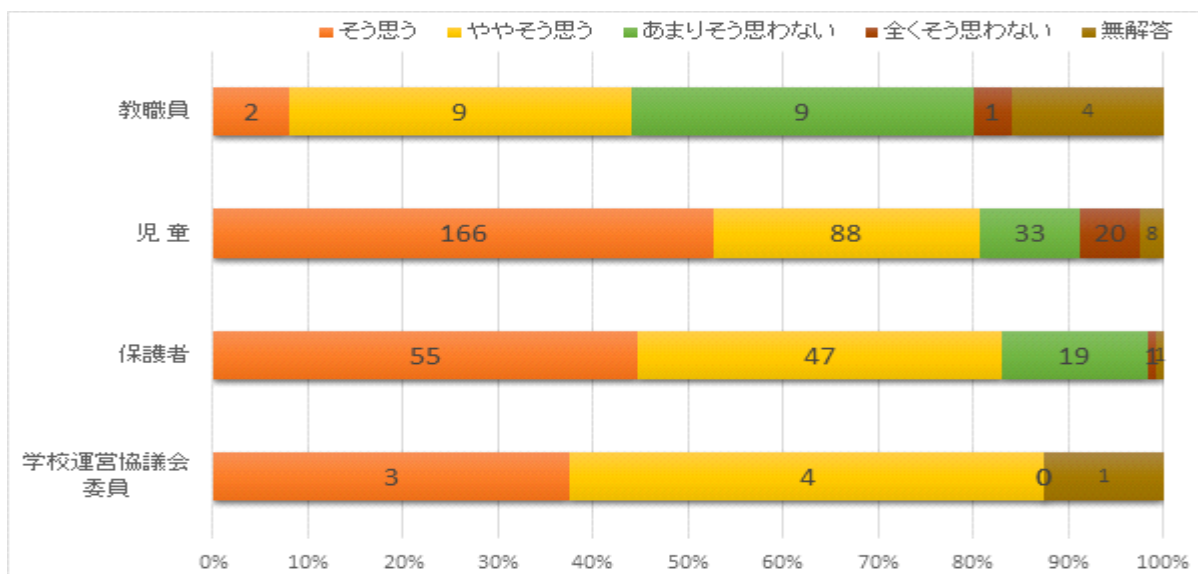


「大人と子ども」で、少し認識が違います。

児童は「いっぱい遊んでよ！」と言うものの、大人は「そうでもないんじゃない？」と思っている……そんな風に思えます。

中央公園（大空町）やほのぼの公園（南の森）では、下校後の児童が集まって遊んでいる姿をよく見ますし、大空小校区は小さな公園も多く児童の姿も見かけます。いずれにしても、小学生は全身持久力や巧緻性が大きく伸びる時期です。広場で工夫して遊んだり遊具に親しんだり、たくさん体を使ってほしいですね。

⑩お子さんは、家庭以外の場でも適切なあいさつをしている。

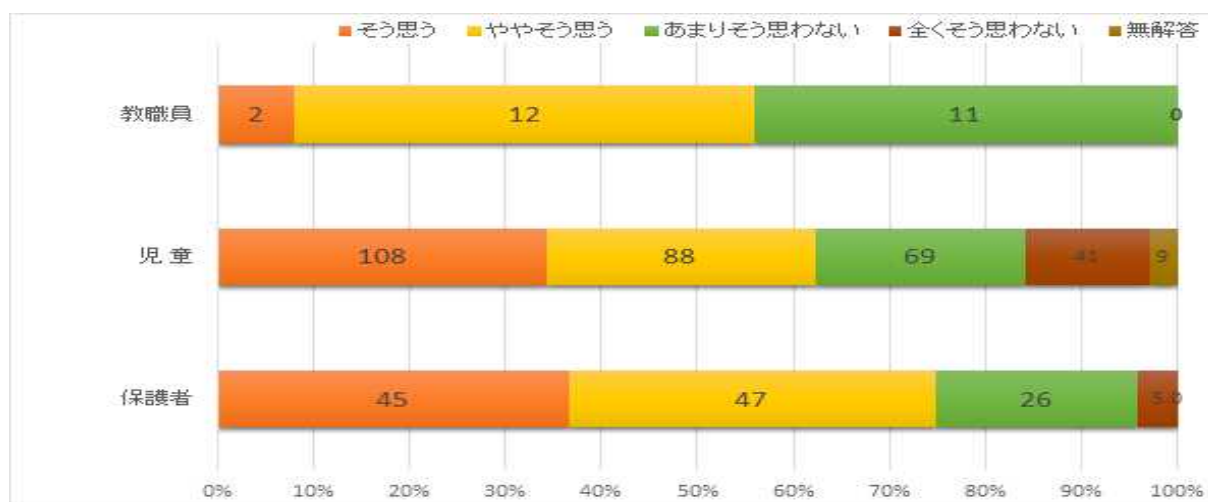


先日、大空町連合自治会の総会に参加した際に、役員の方から「小学生のあいさつは本当に気持ちが良いよ」と伺いました。また、「停止線で車を停めて横断歩道を歩く児童を見送っていると、振り

向いて車に頭を下げる児童がいるんですよ！」と聞いたこともあります。

ただ、辛口の川上は、あえて「もっとできるぞ！大空っ子！」と言いたい。例えば校内でお客さんと出会ったときなど、みんながきちんとあいさつができていますか？と言えば、まだまだです。あいさつ、令和2年度の重点課題にしたい。

### ⑪お子さんは、「早寝早起き朝ごはん」の習慣が身についている。



『早寝早起き』『朝ごはん』で、「生活リズムが整い午前中から元気に過ごせる」「勉強効率を上げるのためにも重要」と言われてから、もうしばらくたちました。

例えば、「テストで毎回100点を取る」のは難しいかもしれませんが、「毎晩9時までには床につく」のは、やればできるのではないのでしょうか。テレビやゲームとの関わりなど、自分や家庭の意思でなんとかできるものは、少しずつ始めてみませんか。

コメントもたくさんいただきました。次回の**大空の子**で少しご紹介します

#### ◇◇校長室から◇◇ 令和2年度から変わること(3)

新学習指導要領、教育内容の主な改善事項として、次のようなものが挙げられます。

- 言語能力の確実な育成～情報を正確に理解し適切に表現する力を育成する
- 理数教育の充実～生活から課題を見出す活動や見通しを持った観察・実験を充実させる
- 伝統や文化に関する教育の充実～古典、文化財、年中行事、伝統音楽、和食、和服を学ぶ
- 道徳教育の充実～多面的・多角的に深く考え、議論する道徳教育を充実させる←先行実施
- 体験活動の充実～生命、自然、挑戦や他者との協働の重要性を実感する
- 外国語教育の充実～外国語能力の向上と、併せて日本語の特徴や言語の豊かさに気付く
- 幼小、小中といった学校段階間の円滑な接続を重視する
- 主権者教育、消費者教育、防災・安全教育を充実させる
- 情報活用能力の育成～コンピュータを活用して学習する、プログラミング的思考を学ぶ
- 発達の支援の充実～特別支援教育、日本語指導、不登校傾向の児童への指導を充実させる

これらを、教科や特別活動などを通して指導していくことになります。その中でも、特に注目されているのが「外国語教育の充実」「情報活用能力の育成」でしょうか。今回は、このことについて取り立ててご説明します。

